

VISTA 8 ユーザーレポート

関西テレビ放送株式会社 様

VISTA 8

音声中継車を更新、メインコンソールに VISTA 8 を採用



■音響に配慮した車内空間

関西テレビ放送株式会社様では、音声中継車を全面的に更新、メインコンソールとしてVISTA 8を採用しました。光MADIを使ったステージボックスやリモートベイ等、VISTA の特長を生かしたシステムを構築しています。



関西テレビ放送株式会社
制作技術部 音声グループ
筒井 亨

音声卓の選考基準

今回更新した音声中継車には、アナログ 48ch コンソールが入っていました。後継機を選定するに当たり、基本的にワンマンオペレートで運用できること、多様な番組、放送形態に柔軟に対応でき、費用対効果も高く、また中継車ということで事前に仕込が行える等の利便性やI/Oの柔軟な運用などを考え、フルデジタルコンソールを採用することにしました。その上でHAやA/D・D/Aの性能・使い勝手などをデモしていただくなどして選考していきました。

VISTA 8 の選考理由

- ・共通のハード/ソフトを使用しているD950や他のVISTAシリーズの納入実績。
 - ・パソコンの二重化などの安全性。
 - ・パソコン画面を含めた操作性の良さ。
 - ・コンソールとしての基本性能（HA・A/D・D/A等）の良さ。
 - ・複数のコンフィグやI/Oをフルルーティング使用することにより、MTR収録や5.1サラウンドに容易に対応できること。
 - ・リモートベイやリモートHAボックスを使用することによる拡張性の高さ。
 - ・フェーダー幅が30mmであるということ。（当社ではフェーダー幅がかなり重要でした。）
- 国内外さまざまな卓が候補に挙がりましたが、以



■車両外観



■コンパクトなD21mステージボックス



■リモートペイ



■ステージボックスは固定運用も可能

上のような理由でVISTA 8を採用しました。

ステージボックス

KTVでは40ch Mic Inputと8ch Line OutputのI/OをD21mフレームに載せて、持ち出し/車内使用兼用のステージボックスとして使用しています。中継車との接続は220Vの電源を載せている250m以内であれば2芯のカメラケーブルのみです。それ以上の場合には出先で100Vもしくは220V電源を供給すればよく、2Kmくらいまでは延ばせると聞いています。

野球場など光のプリセットがある場合はもちろん、現場まで直引きする場合もマルチケーブルを引くのになんとか少ない労力で済みますし、VISTAのHAを現場でそのまま使用できるの

で、卓から普通にゲインリモートもでき、さらに外来ノイズの影響も受けにくくなる等、メリットがとて多いと思います。

リモートペイ

VISTA 8のフェーダー一面(10フェーダー)を独立して使用できるよう、リモートペイ仕様としてあります。ステージボックスと同様、2芯のカメラケーブルで接続できるようにしてあります。電源距離等はステージボックスと同じです。現場でプリミックスを行う場合や、音中車内で別PGMを制作する場合、または本体のフェーダーが足りない場合に使用しています。機能的には本体とまったく変わるところはないので、同様の作業ができますが、いって言えばモニターだけは別に構

築する必要があります。

実際には音楽ライブで本体フェーダーが足りない場合や、5.1サラウンドで制作した場合に、現場でダウンミックス・ステレオPGMを制作するのによく使用しています。

まとめ

10ヶ月がたちますが、中継車という過酷な環境にもかかわらず重大なトラブルもなく稼働しております。主にスポーツ中継ですがステレオ・5.1サラウンド等いろいろな番組で活躍しております。この後10年以上使用することになると思いますが、これからもさまざまな番組で十分使用していきますと考えています。